

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

令和 6年 8月 22日

多治見市議会 議長 様



会派名 公明党

4番議員 氏名 工藤 将和

質問題名	リチウム蓄電池等の回収について
質問要旨	<p>リチウム蓄電池等の世界市場は、新型コロナウイルスの影響で一時は減産したもののコロナ渦が明け今後、自動車分野を中心に上昇傾向と予想されている。その中でも家電製品の電池市場は 1/3 以上のシェアを占めると予想され、インド、中国、日本などの家電部門が優位を占める国ではシェアの半分近く占めおり、更に、スマートフォンや、モバイルバッテリー、ワイヤレスイヤホン、手持ち扇風機、加熱式たばこ本体、その他ポータブル電子機器などの普及がリチウム蓄電池等の需要を押し上げている。</p> <p>一方、リチウム蓄電池及びその使用製品を廃棄物として処理する上で、収集・運搬時や処分時にパッカー車や廃棄物処理施設等で衝撃が加わった際に発火する事故が多発している。環境省によると、令和4年度の廃棄物処理時のリチウム蓄電池に起因すると疑われる火災事故の発生件数は、4,260件（発煙・発火を含む発生件数：16,517件）である。多治見市においても2023年6月28日にごみ集積中のパッカー車にて、リチウム蓄電池を内蔵した製品が原因とみられるばや騒ぎが発生。職員の初期消火により、パッカー車への損傷もなく大きな被害には至らなかった。</p> <p>今後、リチウム蓄電池等の需要拡大と、全国的に廃棄物処理時の発火事故多発の懸念により以下の質問と提案をする。</p>
質問項目①	多治見市のリチウム蓄電池等の回収方法について改めて伺う。
質問項目②	リチウム蓄電池等の回収後、どのように処理されますか。
質問項目③	多治見市での廃棄物処理時の発火対策に関する周知はどのようなか。
質問項目④	<p>提案</p> <p>今後、リチウム蓄電池需要拡大や廃棄物処理時の発火事故防止のため、新たにリチウム蓄電池等のイラストを設け、専用の回収ボックスを設置し、自治会での回収を周知してはどうか。また、市役所や公共施設等に専用ボックスなどを設置し回収を促してはどうか。</p>
質問項目⑤	
質問の相手方	環境文化部長

/

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

令和6年 8月 23日

多治見市議会 議長 様



会派名 新生自民

17 番議員 氏名 林 美行

質問題名	立地適正化計画は多治見市において適切な政策であるのか
質問要旨	立地適正化計画が持続可能性を高めていく多治見市を作り出す障害になっていると考えるので質問するもの。
質問項目①	今回の見直しは、災害対応が必要になったという事だけなのか
質問項目②	立地適正化計画は都市計画区域と関連し、居住誘導地区と都市機能誘導地区を定めるものですが、郊外人口の減少と都市基盤再整備が不足するため、居住誘導地区と都市機能誘導地区の未来が見えないのでは。
質問項目③	多治見市域はそんなに広くないし、ネットワークを張り切れるほど人口も、財政力も抱えていないのでは。オリジナルなプランが必要では。
質問項目④	居住誘導地区ですら人口減少が急速に進んでいる。何かが間違っているのではと考えないのか。
質問項目⑤	可能性のある地区での産業振興が可能になる政策が必要であるが、そういう視点はあるのか。特に笠原、南姫。
質問項目⑥	旧滝呂と新滝呂を併合するようなプランが必要ではないか。 可能な限り、各地域が持続可能性を高める政策が必要ではないか。
質問の相手方	市長、都市計画部長

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

令和6 年 8 月 23 日

多治見市議会 議長 様



会派名 新生自民

17 番議員 氏名 林 美行

<p>質問題名</p>	<p>本庁舎建設への取り組みはこれでよいのか</p>
<p>質問要旨</p>	<p>今もって何かできるのか、一体いくらかかるのかがよくわからないままに進んでいる本庁舎といわれるものの建設への取り組みが心配なためうかがうもの。</p>
<p>質問項目①</p>	<p>駅であるため、賑わい機能が必要ですが、行政が今更図書館、文化会館というわけにはいきません。ただの事務所ではその場所ではない。がどうなるのか今もってわからなということはなぜ起きるのか。建設費の見通しが不十分のままに進んでいる。50億超という数字は何だったのか。</p>
<p>質問項目②</p>	<p>市民アンケートからも車の利用が大半なうえ、公共交通機関は減少している。今もって駐車場のことが明らかでない。ありえないのでは。</p>
<p>質問項目③</p>	<p>機能を集積すれば交通渋滞が発生し加速していく。このための道路網は、計画だけで30年という内環状、外環状、都市間道路。どうするのか。</p>
<p>質問項目④</p>	<p>手順。まず駐車場調査など基本的に必要なパートから積み上げていくことが必要なのになぜできていかないのか。</p>
<p>質問項目⑤</p>	<p>このままでは、調理場と同じような展開になり気が付いたら多くの無駄、不便。ということになりかねないのでは。</p>
<p>質問項目⑥</p>	<p>もう時代の、優先順位が変わったのではないか。豊かで持続可能性が高い、安心して暮らせるまちづくりを優先させる時代に入ったのではないか。</p>
<p>質問の相手方</p>	<p>市長、総務部長・都市計画部長</p>

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

令和6 年 8 月 23 日

多治見市議会 議長 様



会派名 新生自民
17 番議員 氏名 林 美行

質問題名	広聴活動の充実が多治見市において急務ではないのか
質問要旨	人口減少の加速、地場産業の衰退に伴い、まちの将来を見て、縮減していくしかないサイクルに入ってしまった多治見市が、市民合意のとれた市政運営を行うためには公聴活動を丁寧に行う事が急務と考えるため。
質問項目①	多治見市が行っている広聴活動はどのようなものか。
質問項目②	広聴活動により把握した多くの意見、提案などをどのように在庫として管理し、日常の業務に活用しているか。
質問項目③	特に調査広聴は。市民アンケートなどの活用は具体的にどのようなものであるか。
質問項目④	対話広聴の内、地区懇談会についてはどのような位置づけで、どのような取り組みをしているのか。コロナの時期も終わっているので、時間や運営を普通に戻すなど、市民対話が充実し、住民自治が推進できる体制が必要。
質問項目⑤	
質問項目⑥	
質問の相手方	市長、企画部長

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

令和6年8月22日

多治見市議会 議長 様



会派名 自民クラブ

7 番議員 氏名 加藤 智章

質問題名	多治見市のマンホール蓋の現状と可能性について
質問要旨	<p>自治体が管理する 下水道のマンホール蓋は市民の日常の一部になっています。</p> <p>そんな中、マンホール蓋がガタついたり、路面から段差が生じた際に市民が気がつく存在であるが、意識すると至る所に存在する。</p> <p>今回、市政一般質問は多治見市が管理するマンホール蓋について多面的に質問いたします。</p>
質問項目①	本市はマンホール蓋をどの様に管理していますか？
質問項目②	マンホール蓋及びマンホール周辺の不具合の対応は道路管理者との調整はどの様ですか？
質問項目③	マンホール蓋の更新はどの様なタイミングか？
質問項目④	マンホール蓋デザインを魅力的にして、多治見市の街歩きをイベントにしたいと思う、 工事 課と産業観光課との連携が必要と思うが如何か？
質問項目⑤	陶彩の径やモザイクタイルミュージアムの付近などマンホール蓋デザインにアニメキャラクターを取り入れる事についてどの様にお考えか？
質問の相手方	水道部・経済部長

市政一般質問発言通告書 (会派代表・**個人**)

令和 6年 8月 23日

多治見市議会 議長 様



会派名 新生自民
 2 番議員 氏名 亀井 芳樹

質問題名	公立中学校の制服のあり方について
質問要旨	<p>市内の中学校では、少しずつブレザーへの切り替えが進んでいます。</p> <p>学校の制服は、子どもたちの身体に優しく、安全で、機能的であり、子どもたちが選択できる選択肢があること、そして、一番は経済的負担が少ない方がよいと考えます。</p> <p>ただ、物価高騰が続いており、賃金が上がったとしても、市民の暮らしが豊かになっているという実感はなく、市内中学校の保護者も家計のやりくりで苦慮されていると聞いています。</p> <p>その為、なるべく価格を抑える方策が必要だと考えます。</p> <p>今回は、保護者の経済的負担という視点から、市政一般質問をさせていただきます。</p>
質問項目①	<p>現在の状況確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、2校がブレザー化を実施していますが、保護者の経済的負担についての反応はいかがでしょうか。
質問項目②	<p>ブレザー化に関しての今後の流れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在は各学校の主導により採用を決めていますが、今後、市が関与していくことは可能でしょうか。
質問項目③	<p>市内統一について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市は、全国的にみて先進的にブレザー化が進みましたが、ブレザー化を市内統一していくという議論は、過去におこなわれましたか。
質問項目④	<p>経済性に合わせ機能性という視点から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブレザーは機能性や多様性の部分で長けていますが、その一方で、私服や通年のジャージ通学の導入に関して、いかがお考えでしょうか。
質問の相手方	教育委員会

市政一般質問発言通告書（会派代表・**個人**）

令和 6 年 8 月 23 日

多治見市議会 議長 様



会派名 新生自民

3 番議員 氏名 葉狩 拓也

質問題名	今後の自動運転に対する取り組み、方向性について
質問要旨	近年、技術革新の波が自治体の政策にも多大な影響を及ぼしており、その中でも自動運転技術の進展は日本中で注目を集めております。この技術が普及することで、交通事故の減少、渋滞の緩和、高齢者や障害を持つ方々の移動の利便性向上など、様々な社会的な恩恵が期待されています。しかしながら、自動運転の導入に伴う法整備、安全対策、インフラの整備といった課題も未だ山積しています。そこで今回は、多治見市も参加する「東濃地域自動運転特区推進プロジェクト」が発足されたこの機会に、自動運転に対する、市の現状や今後の方針についてお伺いしたいと思います。
質問項目①	多治見市として現時点で自動運転への評価、分析はどのようなか。また今後の展開や導入の可能性についてどう考えているか。
質問項目②	多治見市として自動運転を導入する、メリット・デメリットはどのようなものがあると考えているか。
質問項目③	東濃地域自動運転特区推進プロジェクトの概要、今後のスケジュールはどのようなか。
質問項目④	今回のプロジェクトでホワイトタウンを実験フィールドに選定した理由、また選定の過程はどのようなであったか。
質問項目⑤	今後の自動運転技術の発展により、多治見市の都市政策にどのような影響が考えられるか。
質問の相手方	都市計画部長

市政一般質問発言通告書（個人）

令和 6年 8月 22日

多治見市議会 議長 様



会派名 自民クラブ

21 番議員 氏名 嶋内 九一

質問題名	市長の三公約の実現可能性は？
質問要旨	昨年、はじめて行われた会派代表質問において質問した、市長公約のうち、子育て施策三公約についての進捗と実現可能性について確認する。
質問項目①	実現に向けて、現在ほどの段階か？
質問項目②	いつごろ実現できるのか？
質問項目③	予算的な裏付けは十分か？
質問項目④	
質問項目⑤	
質問項目⑥	
質問の相手方	市長、教育委員会、福祉部長、市民健康部長

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

多治見市議会議長 様



令和 6年 8月 22日

会派名 日本共産党

16番議員 氏名 三輪寿子

質問題名	公共交通政策「200円バスの評価」及び「バスチケット65」移行について
質問要旨	<ul style="list-style-type: none"> ● 「200円バス9年目の評価」と市民の足、移動の確保・交通権について ● 「バスチケット65」高齢者のみ対象のチケット制度移行について市民の公平性の観点からどうなのか？
質問項目①	「200円バス」9年目の評価はどのようなか？市民の移動確保、交通権をどう考えているか？
質問項目②	「バスチケット65」高齢者のみ対象のチケット制限について市民の公平性の観点からどう考えるか？
質問項目③	「200円バス廃止」について市民の意見をどうとらえているのか？
質問項目④	
質問項目⑤	
質問項目⑥	
質問の相手方	市長・都市計画部長

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

多治見市議会議長 様



令和6年 8月22日

会派名 日本共産党
16番議員 氏名 三輪寿子

質問題名	国民健康保険料の県統一化に向けて 「安心して医療にかかれるよう 国保料の負担軽減を！」
質問要旨	●令和5年度比令和6年度の保険料率（1人当たり・世帯当たりの保険料）の増額について、基金・一般財源で負担軽減を！ ●子どもの均等割り未就学児軽減措置の年齢拡大を！
質問項目①	1人当たりの保険料が昨年比5,076円・1世帯当たり8,418円増額案であるが、さらに独自財源を充当して保険料の負担軽減をすべきではないか？
質問項目②	子どもの均等割り未就学軽減措置は昨年比人数・市の財源措置はどれ程か？義務教育終了まで軽減措置を取った場合の人数、財源はどれ程か？
質問項目③	
質問項目④	
質問項目⑤	
質問項目⑥	
質問の相手方	市長・市民健康部長

市政一般質問発言通告書 (会派代表・**個人**)

令和 6年 8月 23日

多治見市議会 議長 様



会派名 オールたじみ

5 番議員 黒川 昭治

質問題名	多治見市の学校教育体制について
質問要旨	<p>様々な事業で、義務教育課程を充実したものとしている。</p> <p>しかし、当市の環境下に於いて、更に高めていけるのではないかと考える。</p> <p>「地域の特色」を生かした教育への考え、それらへの支援の必要性などに対して聞きたい。</p>
質問項目①	<p>学校運営協議会が設立されていない学校があるが、それはいくつ (何校) あるか？</p> <p>また、それは何故か？</p>
質問項目②	<p>教育支援として用途規制のない支援金があるが、限度額に対して使用率はどれだけあるか？</p>
質問項目③	<p>当市の各校は、地域性に於いて様々な特色がある。他校の環境を見学・体験することは、当市全体の良さを知ることができ、大変重要と考えるが意見を伺いたい。</p>
質問項目④	
質問項目⑤	
質問の相手方	教育委員会

市政一般質問発言通告書 (個人)

令和6年8月23日

多治見市議会 議長 様



会派名 市民ネットワーク

19番議員 氏名 井上あけみ

質問題名	子どもたちがもっと利用しやすい児童館とは？
質問要旨	<p>多治見市は全小学校区に児童館(児童センター、交流センター含む)が存在する自治体であるが、これを有効に活かしていないのではないかと感じている。 また、指定管理者への管理料もギリギリのところでおもちゃや、その他の備品等も十分でないのではないかと疑問に感じている。 小さな改革を重ね児童館が利用 しやすい、もっと身近になるよう以下の質問を行う。</p>
質問項目①	<p>多治見市の児童館は全館飲食が禁止となっているが、児童館を利用している親子は、12時になったら帰らなければならない。以前ここでお弁当を食べたいという希望をいただいたが、規則だからという事で叶わなかった経緯がある。ただ、現在は可能なスペースがあればそれぞれ工夫して12時~13時、あるいは13時30分まで可能という自治体が増えている。近隣では可児市、名古屋市なども可能である。そのような検討を指定管理者と行って欲しいがいかか？</p>
質問項目②	<p>以前、ランドセル来館について質問を行ったが、難しいという事だった。多治見市全小学校での実施は困難と考えるが、児童数などモデル的に可能な校区もあるのではないかと再度検討を求めたいがいかか？</p>
質問項目③	<p>不登校の子どもにとっても、児童館は自宅以外の居場所となる可能性がある。ボランティア的に年下の子を見る事も可能である。不登校らしい児童が児童館に来館した際、学校はどうしたの？ お母さんは知ってるの等、質問攻めにして、その子が行きにくくなったという話を聞いている。市としてどのような対応を取る事が良いか、管理者に徹底してほしいがいかか？</p>
質問項目④	<p>児童館・児童センターと言ってもその形態はさまざまであるし、管理者もそれぞれ違いがある。 指定管理者の事業評価についても一律の評価は難しいと考える。会議室の利用率についても、会議室のあつらえや形態によって変わる。その点考慮されているのか？ 伺う</p>
質問項目⑤	<p>多治見市には子どもの権利条例がある。運営に子どもが参加している児童館が増えていの中で、そのような試みも大事と考えるが、見解を伺う。</p>
質問の相手方	市長・福祉部長

市政一般質問発言通告書 (個人)

令和6年8月23日

多治見市議会 議長 様



会派名 市民ネットワーク

19番議員 氏名 井上あけみ

質問題名	新本庁舎建設の基本計画について
質問要旨	いよいよ本庁舎建設に向けて、基本計画が決定されようとしている。基本設計に入る前の大きな枠組みが決まる事になるので、 以下確認したい。
質問項目①	総床面積について、基本構想で292人の職員数を想定していたが、今回257人での試算となった、35名の減であるがこの理由は何か？ 総床面積を8300㎡の根拠について、構想では職員一人あたり24㎡という試算であったが、変えたのか？
質問項目②	1階フロアを市民交流スペースにする事には賛成の立場だが、必要な管理諸室を除く600㎡となるとの説明があった、フロア面積が約1400㎡とすると、管理諸室は800㎡となる。管理諸室とは何か？
質問項目③	内水氾濫の事態を考えたとき、1階スペースに何を配置するか考慮が必要である。管理諸室の配置については懸念があるが、どうか？
質問項目④	また、駅北庁舎3階の親子広場を新庁舎1階フロアに設ける事にも賛成であるが、150㎡のスペースには疑問が残る。ひろげる事を希望するがいかがか？
質問項目⑤	会議室の需要は多くあると考えるが、一部会議室オンリーではなく職員が昼食をとるスペースのような設えにしてはどうかと考えるがいかがか？
質問項目⑥	庁舎の外観、内装、備品、管理等については合理的なシンプルなものにし、経費を抑える事が大切と考える。また、断熱についても十分考慮しガラスだらけにしないよう求めるが、新庁舎の省エネについての考えを伺う。
質問項目⑦	2～3階執務室について、市民課、福祉課等を駅北庁舎から移動できる可能性はあるのか？ その際のコストはどの程度のものになるのか？
質問項目⑧	プロポーザルについて、これを審査するメンバーはどのような方になるか？性別についての考え方はどのようなか？ 基本設計～建設の段階で豪華なものになりがちで、そのようにならないよう求めるがその決意を伺う。
質問の相手方	市長・総務部長

市政一般質問発言通告書（会派代表・**個人**）

令和 6 年 8 月 23 日

多治見市議会 議長様



会派名 オールたじみ

11番議員 氏名 奥村孝宏

質問題名	森林環境譲与税について
質問要旨	<p>令和元年度から自治体に譲与されている「森林環境譲与税」ですが、本年度からは、原則国民一人ひとりから「森林環境税」の徴収がはじまりました。</p> <p>この「森林環境譲与税」について、本市の取り組みと今後の計画を伺うものです。</p>
質問項目①	森林環境譲与税の目的について
質問項目②	本市における森林環境税及び森林環境譲与税の出と入について
質問項目③	これまでの森林環境譲与税の使途について
質問項目④	市民からの見える化について
質問項目⑤	市街化調整区域内における森林等の整備について
質問項目⑥	今後の取り組みについて
質問の相手方	市長、総務部長、経済部長

市政一般質問発言通告書（個人）

令和 6年 8月22日

多治見市議会 議長様



会派名 自民クラブ
9番議員 玉置 真一

質問題名	中部環境先進5市による『TASKI サミット IN 多治見』について
質問要旨	<p>本年7月にT多治見市、A安城市、S新城市、K掛川市、I飯田市の中部環境先進5市による『循環型社会に向けてのまちづくり～市民とつくる豊かな暮らしを目指して～』をテーマに『TASKI サミット IN 多治見』が開催された。開催都市代表である高木市長より「環境サミットを通じて脱炭素等、この町をそして日本をどう守っていくかを議論し各都市の取り組みをみんなで学びながら各地域の発展につながればよい」との言葉がありました。</p> <p>他市の事例を踏まえて当市のこれまで、そして今後の取り組みについて質問致します。</p>
質問項目①	2050年度のカーボンニュートラル(脱炭素)達成に向けての取り組みは?
質問項目②	東濃西部3市ごみ焼却施設広域化に向けた進捗状況は?
質問項目③	資源プラスチックのリサイクルについての取り組みはどのようなか?
質問項目④	市民生活の更なる向上とゴミ減量、回収について課題と取り組みは?
質問項目⑤	テーマである『市民とつくる豊かな暮らしを目指して～』の為、今やらなくてはいけない最重要事項は?その為には何が必要か?
質問項目⑥	
質問の相手方	市長・環境文化部長

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

令和 6 年 8 月 22 日

多治見市議会 議長 様



会派名 公明党

13 番議員 氏名 寺島 芳枝

質問題名	プレコンセプションケアの普及啓発について
質問要旨	<p>プレコンセプションケア（プレコン）とは「妊娠前の健康管理」を意味し世界保健機関（WHO）などが提唱するヘルスケアの指針である。国内においても「健やか 親子21」とともに健康増進法に基づき作成された「健康日本21」の具体策の一翼を担うものとなる。プレコンセプションケアに重点をおくことは少子化、高齢化対策の布石を打つことに繋がる。女性だけでなくカップルを対象に、医学的・行動的な保健介入を実施する必要性を示している。こうした観点から①若い男女が健康を意識し生活の質を高め、不妊や早産などのリスクを減らす。②次世代の子どもをより健康にする。の二つを目的とする。公明党女性委員会の提言「すべての女性のためのトータルプラン」においてもプレコンセプションケアの充実を掲げてきた。</p> <p>日本は諸外国と比較し、19年の妊産婦死亡率は10万対で3.3人、周産期死亡率は出産1000対で3.4人と世界で最も安全な周産期体制を提供している。が反面、性と生殖に関する包括的な教育が遅れていることでワクチン接種率や子宮頸がん・乳がん検診受診率など先進国と比べ明らかに低いなど特有課題を持つ。実情にあった日本での「プレコンセプションケア」が必要不可欠との観点から質問する。</p>
質問項目①	本市のプレコンセプションケアの取り組みに対する見解はどのようなか
質問項目②	プレコンセプションケアのチェックシート（男女）の活用をしてはどうか
質問項目③	プレコンセプションケアの相談窓口の設置（プレコン相談）は出来ないか。
質問項目④	プレコンセプションケア（プレコン チェック）検査費用の助成事業は出来ないか
質問項目⑤	
質問項目⑥	
質問の相手方	市長 市民健康部長

市政一般質問発言通告書 (会派代表・**個人**)

令和 6 年 8 月 22 日

多治見市議会 議長 様



会派名 公明党

13 番議員 氏名 寺島 芳枝

<p>質問題名</p>	<p>下水道の維持管理・更新におけるウォーターPPP 導入に向けて</p>
<p>質問要旨</p>	<p>公共インフラの適切な維持管理や更新は、地域住民の日常生活の安全と安心のために大変に重要な課題である。地方公共団体が整備や維持管理を進めてきた下水道は、1990年代に建設されたものが多く、下水道管の耐用年数をおよそ35年と仮定すると2025年頃から大量に更新時期を迎えることが予想される。</p> <p>この地方公共団体の下水道事業においては、この施設の老朽化に加えて、人口減少による使用料収入の大幅な減少、職員数の減少による管理や運営状況の悪化に対し、広域化やDXをはじめとする効果的・効率的な取組が求められている。</p> <p>政府は、更新時期を迎える公共インフラの適切な維持管理や更新のために、PPP/PFI推進アクションプラン(令和5年改定版)を策定し公共施設等運営事業へ移行する方針を示した。下水道においては、公共施設等運営事業への段階的な移行を目指して、官民連携方式として、長期契約で管理と更新を一体的にマネジメントする方式(ウォーターPPP)を導入することとした。更に政府は、社会資本整備総合交付金等の交付要件について、「污水管の改築に係る国費支援に関して、緊急輸送道路等の下に埋設されている污水管の耐震化を除き、ウォーターPPP導入を決定済みであることを令和9年度以降に要件化する」とした。</p> <p>そこで本市の今後の方針ご見解を聞く。</p>
<p>質問項目①</p>	<p>ウォーターPPP 導入の背景にある職員数の減少(ヒト)・施設の老朽化(モノ)・使用料収入減少(カネ)の課題に対する、これまでの本市の取り組みを伺う。</p>
<p>質問項目②</p>	<p>ウォーターPPP の導入に対する本市の見解を伺う。</p>
<p>質問項目③</p>	
<p>質問項目④</p>	
<p>質問項目⑤</p>	
<p>質問の相手方</p>	<p>市長 水道部長</p>

市政一般質問発言通告書（個人）

令和 6年 8月 23日

多治見市議会 議長 様



会派名 自民クラブ

12 番議員 氏名 吉田 企貴

質問題名	私たちは多治見国長を知っていますか？
質問要旨	<p>9月19日は多治見国長公の命日であり、その非業の死は『太平記』の名場面「正中の変」の記述において有名です。</p> <p>岐阜県のHPによれば、「多治見国長は、美濃守護土岐頼貞の一族で、多治見郷に在住したことにより多治見氏と称した。正中元年（1324）後醍醐天皇の密旨を奉じて、鎌倉幕府討伐に京都に上った。しかし、この密事が露見し、国長の宿所京都錦小路高倉の邸が六波羅探題の将小串三郎左右衛門尉範行に襲撃され、国長は非業な最期を遂げた。国長36歳であったという。」</p> <p>一方で、その活躍や来歴等を知る市民は決して多くはなく、鎌倉幕府討幕という歴史の転換点の嚆矢となった事件である「正中の変」についても浸透しているとはいえない。</p> <p>こうした状況を憂慮し、郷土の偉人を顕彰する意味を込めて質問する。</p>
質問項目①	多治見国長公は多治見出身の偉人のうちでも、特に重要な人物であると思われるが、市における扱いはどういったものになっているか。
質問項目②	小中学校において国長公について子ども達が触れる機会は確保されているか。
質問項目③	名刹・永保寺が立地していることと国長公ら土岐源氏とのかかわりは深い。観光においてもストーリーの深掘りが必要ではないか？
質問項目④	「関ヶ原の戦い」等を通じた全国的な連携が県内ではみられるが、『太平記』の世界観を活かした全国的なつながりを模索してはどうか。
質問項目⑤	
質問の相手方	教育長・経済部長

市政一般質問発言通告書（個人）

令和 6年 8月 23日

多治見市議会



会派名 自民クラブ

12 番議員 氏名 吉田 企貴

質問題名	公債費の将来予測と財政運営について
質問要旨	合併後の多治見市を財政的に支えてきた合併特例債の償還期限をまもなく迎えることから、今後の中長期的な財政運営の在り方について確認する。
質問項目①	合併特例債の償還はいつごろ終るか。
質問項目②	合併特例債の償還後に公債費の規模は如何ほどになるか。
質問項目③	財政向上指針における市債残高の取り扱いはどういった考え方に基づくか
質問項目④	今後の財政運営における借入に対する考え方はどういったものか。
質問項目⑤	
質問の相手方	総務部長

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

令和 6年 8月 23日

多治見市議会 議長 様



会派名 オールたじみ

6 番議員 氏名 成田 康弘

質問題名	防災・減災について ～災害に強い多治見を創造する【初の巨大地震注意発令に伴う取組み編】～
質問要旨	8月8日に発生した宮崎県沖日向灘を震源とするM7.1の地震により初めての「南海トラフ地震臨時情報『巨大地震注意』」が発表された。 南海トラフ地震の発生確率が高まる中、地震に備える重要性を再認識し、市民の生命や暮らしを守るため、防災・減災に関する取組みの更なる充実・強化が急務である。地震発生から1週間の8月15日をもって、政府としての特別な注意の呼びかけは終了したが、いつ発生してもおかしくない巨大地震災害について多治見市の危機管理体制について問う。
質問項目①	南海トラフ地震臨時情報『巨大地震注意』が発表された今、市長（災害対策本部長）として何を感じたか。思いや考えを伺う。
質問項目②	『巨大地震注意』発表後の対応について時系列で確認する。
質問項目③	巨大地震発生時、初動の重要性は言うまでもありません。 災害対策本部としての優先的業務を伺う。
質問項目④	災害発生時、「市民の安否確認」と「市民への情報伝達」は如何に行うか。
質問項目⑤	
質問項目⑥	
質問の相手方	市長、企画部長